

チャペル週報

No.15

2013.9.20～9.27

人よ、何が善であり
主が何をあなたに求めておられるかは
あなたに告げられている。正義を行い、慈しみを愛し
へりくだって神と共に歩むこと、これである。

(ミカ書 6：8)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 9月20日(金) 神 岩野 祐介 (神学部准教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 秋学期を迎えて 舟木 讓 (宗教主事)
人 住野 公平 (人間福祉学部職員)
聖和 「激動の夏」吉新 ばら (キリスト教教育・保育研究センター)
理 前川 裕 (宗教主事)
-
- 9月23日(月) 神 柳川 真太郎 (神学研究科M2)
文 関西学院の歌① 舟木 讓 (宗教主事)
人 木原 桂二 (北山バプテスト教会牧師)
聖和 聖書物語「とうとうやってきた」
-
- 9月24日(火) 院 樋口 進 (宗教センター宗教主事)
神 <夏期派遣実習報告> 南部 正人 (神学研究科M2)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 秋学期開始にあたって 打樋 啓史 (宗教主事)
法 富田 宏治 (法学部長)
経 関西学院の歌② 舟木 讓 (宗教主事)
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 新しい学期をむかえて 平林 孝裕 (宗教主事)
聖和 日浦 直美 (教育学部長)
総 高畑 由起夫 (総合政策学部長)
-
- 9月25日(水) 神 <夏期派遣実習報告> 柳本 和良 (神学研究科M1)
文 動詞シリーズ「悩む」① 打樋 啓史 (宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 献血週間を覚えて 献血実行委員会
聖和 田淵 結 (教育学部宗教主事)
理 前川 裕 (宗教主事)
総 村瀬 義史 (宗教主事)
-
- 9月26日(木) 神 <夏期派遣実習報告> 柳本 伸良 (神学研究科M1)
文 永田 雄次郎 (文学部教授)
社 献血実行委員会
法 富田 宏治 (法学部長)
経 献血実行委員会
商 山本 俊正 (宗教主事)
国 English Chapel Hans Bjarne Thomsen (Professor, University of Zurich)
聖和 学生YMCA「大島青松園訪問報告」
総 小池 洋次 (総合政策学部教授)
-
- 9月27日(金) 関西学院創立124周年記念合同チャペル
「124年前に蒔かれた開学の種」Ruth M. Grubel (院長)
ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原キャンパス)
「創立者ランバスのスピリット」樋口 進 (宗教センター宗教主事)
人間福祉学部チャペル (西宮上ヶ原キャンパス)
「一粒の麦」舟木 讓 (大学宗教主事)
メアリー・イザベラ・ランバスチャペル (聖和キャンパス)
「わたしの隣り人」田淵 結 (宗教総主事)
理工学部チャペル (神戸三田キャンパス)
-

- ◇ランバス早天 祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
9月20日(金) 新しい学期を迎えて 井上 琢智 (学長)
9月27日(金) 創立記念日(9/28)を迎えるにあたって 山本 俊正 (院長補佐)
-

124回目の誕生日 ～創立記念日を迎えて～

夏 目 裕

1889年に関西学院が誕生し、今年 124 回目の誕生日（創立記念日）を迎えます。私たちは毎年その日を覚え、礼拝を守っています。人も毎年誕生日を迎え、それぞれにそのことを祝い、早天祈祷会でも誕生日を迎える教職員や学生のことを覚え、祈りを共にしています。人の誕生日と同じように、これまで多くの人たちが守り、育ててきた関西学院の誕生日を祝うことはとても大切なことです。

誕生日というと、私は、人の誕生日はその日まで生きてきたことを思い祝う、学校の誕生日はその日からのさらなる発展を願い祝う、といった意味合いが強いように思います。それでは 124 回目の誕生日を迎えた今年、記念事業が行われる来年の 125 回目の誕生日に向けて、私たちはどんな思いを持って歩んでいくのでしょうか。

関西学院もそのひとつである、いわゆるミッション・スクールは明治時代以来、長い年月を生き抜いてきました。その間、果たしてきた役割や存在意義といったものは変化し、かつてミッション・スクールが“売り”としていた外国語などは、今やあたりまえのことになりました。それでは、これから関西学院のミッション・スクールとしての存在感は何で示していけるのでしょうか。

21 世紀は「心の時代」といわれています。経済的に行き詰まってくるとそんなことがいわれるのかもしれませんが、これから人が共生していくうえで一番重要になるのは「心」ではないでしょうか。人がモノやカネ、情報や知識に埋もれたときに、「心の豊かさ」が重要になります。心の通じ合った意思決定の重要性が増し、心のこもったコミュニケーションが求められるようになるでしょう。

そんな時代にこそ、ミッション・スクールの存在感を示す道があるのではないかと思います。具体的な教育内容に特徴を持たせていくことは必須かつ重要なことです。しかし、ミッション・スクールは、加えてキリスト教主義による心や精神に響く教育を行うことを“売り”にすることができるのではないのでしょうか。

関西学院は Mastery for Service を体現する世界市民を育むことをミッションとしています。そのために必要な知識や技能を身につけるとともに、あわせて「心の豊かさ」を養うことのできる環境が関西学院にあることを“売り”にする。

そんなことを思い描きつつ、125 回目の記念の誕生日を迎えませんか。

(吉岡記念館事務室次長)

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち45人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月5日(土) 10:00～16:00

と ころ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

指導者：太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催：宗教センター

●秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：9月30日(月)～10月4日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

9月22日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月22日(火) 10:35～11:05

11月19日(火) 10:35～11:05

いずれもランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕の祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第1回 10月10日(木) 18:30～20:00

第2回 11月7日(木) 18:30～20:00

第3回 1月9日(木) 18:30～20:00

と ころ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●リトリートat千刈～テゼ共同体のブラザーを迎えて～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き：11月30日(土)～12月1日(日)

と ころ：関西学院千刈キャンプ

主 催：関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ：宗教センター(吉岡記念館事務室)

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。